

ご意見に対する市の考え方

募集期間：令和8年(2026年)1月15日(木曜日)から2月16日(月曜日)まで

提出件数：7件

素案の名称：箕面市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）

ご意見を踏まえ、素案を変更した部分：以下の1か所

- ・本編中28ページ「2 市民・事業者・市の役割」のうち、市民の役割の1文目

変更前「地球温暖化を自身の問題として認識し、脱炭素ライフスタイルへの転換に努めます。」

変更後「地球温暖化を自身の問題として引き続き認識し、これまでの取組を大切にしながら、無理のない範囲で脱炭素ライフスタイルを意識した暮らしを心がけます。」

上記対応を含め、いただいたご意見に対する市の考え方は、以下のとおりです。

※ご意見は、原則として原文をそのまま公表しています。ただし、意見を提出されたかたが特定されたり、意見によって第三者の利益を侵害される恐れがあると判断した場合や、ご意見の趣旨を正確に表現するために必要であると判断した場合は修正を施しています。

意見 番号	いただいたご意見	いただいたご意見に対する市の考え方
1	<p>箕面市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）を拝見いたしました。同案における箕面市の根本的な姿勢について、意見させていただきます。</p> <p>同資料では、世界、国、府における基準、規定をもとに、全ての方針を作成されています。しかしながら、箕面市が今後安定して住みやすい市政を維持するためには、独自の考え方を持つことが重要と思います。</p> <p>例えば、温室効果ガスに対する対策において、なぜ自然林をCO₂吸収材として算入できないのでしょうか。</p> <p>自然林がCO₂を吸収し、O₂を排出できることは中学生でもわかる事実です。世界、国、府などが、所定の事情に基づいて設定している基準ではなく、箕面市として、独自の算出基準を設け、安定して市政を維持できるか否かを判断されるように、お願いいたします。</p> <p>この点は、住宅やビルの屋上に太陽光パネルを増設する案についても、同様です。物事を一方からだけ見るのではなく、多方面からご考慮いただきたいと希望いたします。</p> <p>具体的に、国や府が提示する太陽光発電システムのメンテナンス、耐久期間のデータが実情にそぐわないことは、近年の実データから明らかです。</p> <p>想定よりもはるかに短期間で機材交換が生じるため、初期導入費用だけでなく、以後のメンテナンス、維持費用が莫大になり、結果として、予算不足、使用中断を招くことは必然です。この場合、市が想定している温暖化対策の効果が十分に発揮できず、結果として、新たな税金の投入による別の対応策が必要になります。このため、箕面市におかれましては、国や民間から得られる基準データを鵜呑みにすることなく、冷静かつ実情に沿った判断と対策立案をお願いしたいと思います。</p> <p>なお、貴案には含まれておりませんが、他の地方自治体で大きな問題になっております、森林伐採に基づく太陽光発電システム（メガソーラー）の設置は、断固として、強く反対いたします。民間、公的機関を問わず、私腹を肥やすようなシステムが箕面市にも拡がることのないよう、くれぐれもご対応をお願いします。</p> <p>日ごろのご尽力に深く感謝申し上げます。なにとぞ、よろしくお願いいたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見のとおり、地域独自の視点や基準を持つことは重要であると認識しています。箕面市独自の視点としては、家庭部門からの温室効果ガス排出割合が多いこと、市民アンケートで子どもたちへの環境学習の強化が求められていることから、子どもを通じ、家庭へ波及する啓発が重要と考え、今回の計画策定において、やさしい版（子ども向け概要版）を、併せて作成することにしました。 一方で、温室効果ガス排出量の算定や目標設定は、国や府の計画と整合を図る必要があり、現行法令の枠組みの中で進めています。今後も国や府の動向を注視しつつ、箕面市独自の実情や課題を反映できるよう、柔軟な見直しや施策の検討を行っていきます。 ・ご意見のとおり、自然林にもCO₂吸収効果があると考えられます。適切な森林経営（間伐・植栽・主伐・再造林等）が行われていない森林については、CO₂吸収量を正確に算定するために、2時点以上の森林蓄積（幹材積）データが必要となります。計画策定にあたり調査を実施しましたが、箕面市内の自然林については、必要な情報を得ることができませんでした。そのため、現時点では自然林によるCO₂吸収量を算入することができません。 しかし、箕面市の豊かな自然環境を活かす視点は大変重要です。持続的な森林管理を支える取組を推進していきます。 ・太陽光発電システムのメンテナンスや耐久期間、維持費用については、実際の運用データや最新の情報を踏まえ、導入事例や維持管理コストについても十分に検討していきます。 ・ご意見のとおり、森林伐採を伴う大規模な太陽光発電システム（メガソーラー）の設置については、箕面市の豊かな自然環境や生態系への影響、景観保全の観点からも慎重な対応が必要と認識しています。本市は、「箕面市特定太陽光発電設備の設置の規制に関する条例」により設置を規制しています。「特定太陽光発電設備」とは、出力10キロワット以上又は面積100平方メートル以上の大規模な太陽光発電設備のことです。「山すそ景観保全地区以北のエリア」、「市街化調整区域」、「生産緑地」を、禁止区域としています。

意見 番号	いただいたご意見	いただいたご意見に対する市の考え方
2	<p>本計画（箕面市地球温暖化対策実行計画〈区域施策編〉素案）を読み、特に「市が追加的な温暖化対策を実施する必要性」について強い疑問を感じました。</p> <p>まず、資料に示されているとおり、箕面市の温室効果ガス排出量は、基準年度である平成25年度（2013年度）から令和3年度（2021年度）にかけて、約26.9%減少しています。これは数値上も明確であり、すでに市民や事業者の努力、エネルギー効率の改善、社会構造の変化等によって、排出量が着実に減少していることを示しています。</p> <p>にもかかわらず、本計画では「さらなる削減」を前提とし、市民・事業者の行動変容や追加的な設備投資を当然視した施策が多数盛り込まれています。しかし、既に排出量が減少している現状を踏まえた上で、なぜ今以上の負担を市民に求める必要があるのかについて、十分な説明がなされているとは言えません。</p> <p>市民アンケート結果を見ても、省エネ家電への買い替えや断熱化など、可能な範囲での取組は一定程度進んでいる一方、太陽光発電設備や住宅のZEH化など、多額の費用を伴う施策については「導入予定なし」と回答している市民が多数であることが示されています。これは、市民の環境意識が低いのではなく、経済的負担が現実的でないことの表れだと考えます。</p> <p>それにもかかわらず、本計画では「脱炭素ライフスタイルへの転換」や「再生可能エネルギーの導入」を市民の役割として強調しています。これは、努力の限界に近づいている市民に対し、さらに負担を上積みする構造になっており、公平性の観点からも疑問があります。</p> <p>また、箕面市は産業部門からの排出割合が比較的小さく、家庭部門・業務その他部門・運輸部門が排出の大半を占めています。この構造上、追加削減の多くは一般市民の生活に直接影響する分野に集中せざるを得ません。つまり、本計画の実行は、市民生活への負担増とほぼ同義です。</p> <p>さらに疑問なのは、こうした市民負担の増加が、どの程度の効果をもたらすのかが極めて不明確である点です。市単位での排出削減が地球規模の温暖化防止に与える影響は極めて限定的であり、本計画でもその限界についての冷静な分析は示されていません。効果が限定的であるにもかかわらず、なぜ今以上の負担を市民に求めるのか、その合理性が見えません。</p> <p>本計画は、国や大阪府の方針との整合性を重視して策定されていることが明記されていますが、その結果として、「箕面市として本当にやる必要があるのか」「やらない、あるいは規模を抑える選択肢はないのか」という検討が欠落しているように感じます。地方自治体の計画である以上、上位計画の追認にとどまらず、市民生活とのバランスを最優先に考えるべきではないでしょうか。</p> <p>加えて、本計画に関連する今後の施策や制度設計によっては、省エネ賦課金的な負担や、間接的な市民負担が拡大するのではないかという懸念も拭えません。少なくとも、市民から新たな金銭的負担を求める可能性があるのであれば、その点を明確に説明し、是非を問う必要があります。</p> <p>私としては、箕面市が優先すべきは、温暖化そのものを「止</p>	<ul style="list-style-type: none"> これまでの温室効果ガス排出量削減において、市民や事業者の努力が貢献していると評価しています。しかしながら、家庭部門の電気使用量が基準年度（平成25年度）と比較して大きくは減っていない状況を鑑みると、温室効果ガス排出量の削減には、基準年度当時に比べ、火力発電の割合が減少している一方、原子力や再生可能エネルギーなど、温室効果ガスを発生しない発電方法の割合が増加していることが大きく寄与していると考えられます。本計画は、今の子どもたちが大人になる将来へ、安心して暮らせる環境を守るため、具体的には平均気温の上昇を1.5℃に抑えるため、2050年カーボンニュートラル（排出量実質ゼロ）の実現を目指すものです。そのために、令和12年度（2030年度）までに、箕面市域においては、排出量を約10万t-CO₂削減する必要があります。発電方法の内訳が今後、これまでのように大きく変化する見通しはありません。したがって、市としては、継続的な取組が必要と考えています。 本計画は、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たしながら、協力してカーボンニュートラルを目指すものです。市民に過度なご負担をお願いするものではありません。太陽光発電設備や住宅・事業所の省エネ化など、費用負担の大きいものについては、国や府による支援等について積極的に情報提供する他、国等の事業を注視し、市としての支援も検討します。素案本編 p.28 に記載している「市民の役割」の「地球温暖化を自身の問題として認識し、脱炭素ライフスタイルへの転換に努めます。」という文章を、すでに強い意識を持って、積極的に取り組んでいただいている市民のことを考慮し、「地球温暖化を自身の問題として引き続き認識し、これまでの取組を大切にしながら、無理のない範囲で脱炭素ライフスタイルを意識した暮らしを心がけます。」に修正します。 箕面市の排出状況については、ご意見のとおり、家庭部門の占める割合が大きく、事業者・行政に対してと同様、市民に対しても、更なる意識改革・行動変容を期待し、各家庭において、できることから少しずつ取り組んでいただけたらという思いです。市としては、市民・事業者が取り組みやすい環境を整えていきますので、取組可能なものから実践していただければ幸いです。市単位での取組の積み重ねが大きな変化につながると考えています。 温室効果ガス排出量の算定や目標設定は、国や府の計画と整合を図る必要があります。現行法令の枠組みの中で進めています。今後も国や府の動向を注視しつつ、箕面市独自の実情や課題を反映できるよう、柔軟な見直しや施策の検討を行っていきます。 ご意見のとおり、本計画では、温室効果ガス排出削減（緩和策）だけでなく、気候変動の影響に備える適応策も重要と考えています。災害対策としては、非常用持ち出し袋の準備や自治会加入の呼びかけ、避難所の環境整備など、暑熱対策としては、クールスポット設置拡大、小中学校へのウォーターサーバーの設置などを進めます。今後も緩和策と適応策のバランスを重視し、市民の安全・

意見 番号	いただいたご意見	いただいたご意見に対する市の考え方
	<p>める」ことではなく、既に起こりつつある猛暑や豪雨に対する適応策、すなわち、防災、暑熱対策、インフラ整備、高齢者や子どもを守る具体的施策であると考えます。これらは市民の命と生活に直結し、市が主体となって実行すべき分野です。</p> <p>既に一定の成果を上げている市民の努力を正当に評価せず、さらなる負担を前提とした計画を進めることには賛同できません。本計画については、排出量が減少している現状を正面から評価した上で、市が追加的に温暖化対策を行う必要性、費用対効果、市民負担の有無と内容を改めて明確にし、計画全体を再検討することを強く求めます。</p>	<p>安心を最優先に施策を展開していきます。</p>
3	<p>P44「②災害への備えの強化」について、意見提出させていただきます。</p> <p>昨今、日本全国で風水害や地震など、大規模災害が後をたたず、2018年6月の大阪北部地震や同年9月の台風21号など、箕面市も他人事ではありません。そのため、停電時にも電力供給が可能な太陽光発電設備や蓄電池を事業所や公共施設に導入することは重要と考えます。その上で、太陽光発電設備は悪天候により発電出力が下がり、蓄電池は充放電容量に限りがあるため、停電時に安定して継続稼働が可能なガスコージェネレーションやガス空調設備の導入も事業の継続や被災者の受入れに際して、高い効果を発揮すると考えます。</p> <p>実際にガスコージェネレーションやガス空調が導入された事例を以下に紹介します。</p> <p>2018年9月に発生した北海道胆振東部地震では、札幌市（北海道全域）で大規模な停電が発生しましたが、パイプライン供給の天然ガス（都市ガス）を用いたガスコージェネレーションが稼働し、市民向け施設や市役所などに電気と熱の供給を継続し、帰宅困難者や観光客の受入れに貢献しました。 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/2/4/6/7/8/8/9/_/13siryou2-2-2keisankyoku.pdf</p> <p>また、箕面市では、既に全市立小中学の体育館にプロパンガスで稼働する空調機と発電機が導入され、停電時にも空調や照明等を利用できるようにして、避難所としての環境改善が行われています。 https://www.city.minoh.lg.jp/edukanri/documents/gakkoutaiikukan_hatsudenki_yojyou.pdf</p> <p>なお、都市ガス仕様のガス空調設備でも、プロパンガスを都市ガスに変換することで使用可能となり、発電機を内蔵した停電対応型のガス空調設備では、起動のために別途、発電機を準備する必要がなく、余った電気を照明等に利用することも可能となります。 https://www.kyoiku-press.com/post-273876/</p> <p>加えて、現在、意見募集中の大阪府の地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（改定案）（P57）には、下記の記載があります。</p> <p>■レジリエンス強化の観点での太陽光発電設備等の設置促進 <具体的な取組例></p>	<p>・本計画期間においては、将来的な技術動向を注視しつつも、現段階で温室効果ガス排出削減につながる太陽光発電設備の導入を優先的に進めることが重要であると考えています。</p> <p>都市ガスを使用した「ガスコージェネレーション・ガス空調設備」について、本計画への追記は見送らせていただきますが、災害対策につながる貴重なご意見として、防災担当部局への情報提供を行い、導入の可能性や効果について調査・検討を行っていきます。</p> <p>将来的には、都市ガスに含まれるメタンがe-メタンに置き換えられ、実質的な排出量がゼロになる見込みであり、温室効果ガス排出量削減に大きく寄与すると考えています。</p>

意見 番号	いただいたご意見	いただいたご意見に対する市の考え方
	<p>○災害時等のレジリエンス強化にも寄与する公共施設や防災拠点、避難所等への太陽光発電設備等の導入促進</p> <p>○防災・減災にも寄与する太陽光発電設備や蓄電池、コージェネレーションなどの分散型エネルギーの活用促進</p> <p>○災害等の停電時に活用でき、レジリエンス強化に寄与する電動車の普及促進</p> <p>https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/122830/shiryou.pdf</p> <p>上記を踏まえ、箕面市の地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案（P44）に、下記の通り「ガスコージェネレーション・ガス空調設備」を追記してはどうかと考えます。</p> <p>■ 事業者に期待する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所への太陽光発電設備・蓄電池・ガスコージェネレーション・ガス空調設備の導入 ・事業継続計画の策定・見直し ・気候災害についての情報収集 <p>■ 行政の取組・施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害拠点となる公共施設への太陽光発電設備・蓄電池・ガスコージェネレーション・ガス空調設備の導入の検討（災害時復興力強化） ・温暖化と気候災害についての情報発信 <p>ご検討よろしくお願いたします。</p>	
4	<p>環境対策をする意義をみんなと考える機会をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野市で電力量やクリーンエネルギーの数値が見えるパネルがあったのでそのようなものをつくる。 ・ゆずるバスの小型版をEV車で運行する ・環境について考えるカードやボードを用いて市民参画でより身近な対策を考えて毎年進捗を確認していく ・環境都市らしく常緑広葉樹を駅前、街中に植樹しグリーンスポットとして紹介する ・ゼロカーボン宣言を商工会議所と共同でする ・再エネ大賞グランプリみたいなのを企業支援で行う ・ウィルビーにエコハウスを作って環境にやさしい住宅を皆で体験できるブースを作る ・自然保育や学校学習を実施し、環境について考える機会を公立から実施する ・環境サミットをユース中心で大学連携で行う ・木育や間伐材、伐採木のアップサイクルを行う ・公共の施設のプレートや名札などを街路樹更新の伐採木の活用を行いPRする ・市政70周年式典記念品は環境対策に絡めて実施する ・全庁あげて環境対策に資する予算のあげ方ができているかを振り返りホームページで公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの取組も、関係機関と調整しながら、今後の施策検討の参考とさせていただきます。
5	<p>太陽光発電の推進をすすめていることを知り、とてもうれしくなりました！再生可能エネルギー100%は難しくても、できるかぎり100に近づける努力をされてると認識しました。これからも期待しています！</p> <p>いまの電力使用量が高いのは、建物の断熱がうまくできていない可能性が高いと思います。学校や市の施設など、公的な建物の断熱化を急速に進めてほしいです。どれだけ暖房や</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの取組も、関係機関と調整しながら、今後の施策検討の参考とさせていただきます。

意見 番号	いただいたご意見	いただいたご意見に対する市の考え方
	<p>冷房を強くしても、建物が断熱されていなければエネルギーを無駄にしてしまうことになります。</p> <p>子どもやお年寄りをはじめ、今後もますますひどくなるであろう酷暑や厳冬で健康を害する確率が高まり、3才の子がいる親として恐ろしさを身近に感じます。夏はとくに外で遊ぶことは不可能なので、屋内で安全に遊べる公的スペースも増やしてほしいと感じています。</p> <p>また個人の住宅やマンションやアパートの断熱を推進するためにも、断熱材の補助金や、断熱等級の高い住宅を選んだ場合には手当を出すなど、とにかく断熱を積極的に進めてほしい。日本は断熱基準が他国と比べて低すぎるというデータもありますよね。そういう啓発も市民に行うべきです。</p> <p>あとはゴミについてですが、市内のスーパーなどではパック売りの惣菜が主流になっています。自分で袋につめたり、量り売りするなど、なるべくゴミの出ない販売方法をしてほしいのです。パックのプラごみつかさばるし、ごみ収集する側の負担も増えますよね。プラごみ焼却分のCO2排出も気になる。増えるごみ、それを運ぶためのトラックの輸送費も焼却費も税金です。その分のお金やエネルギーをほかの教育や公共事業で使えたら、市民も協力すると思います。</p> <p>たとえば自分で容器をもってきて、そこに惣菜や食品をつめる。衛生面にさえ気をつければ、販売者にとっても経費削減になるし、購入者にとってはゴミも減るし、そのままチンできるし、冷蔵庫に保存できるし、いいことも多いです。事業者への提言や、企業のプラ削減の取り組みを補助するなど、市で出来ることを模索してほしい。</p> <p>あとは生ゴミを焼却するのも莫大なエネルギーがあるので、家庭でコンポスト・キエーロなどを導入しやすいように購入補助をするなど、すぐにでもしてほしい！最近では室内でも使えるコンポストが増えていて購入補助がでる自治体も多いので、箕面市もはやく進めてほしいです。</p> <p>あとはバスや公用車のEV化について。重点はすでに置かれてるみたいですが、箕面市もはやくしてほしい。</p> <p>とにかく温暖化対策、気候危機対策はスピードが大切なので、できることはどんどん進めて、他の自治体にアピールできるくらい力を入れてほしいです。</p> <p>教育世界一をうたう原田市長をはじめ、市議会のみならず、こどもの未来を深く考えてくださるはず。気候危機の未来をすこしでもマシにするために、再エネ発電推進、断熱、プラごみ削減、コンポスト推進、具体的にできることをどんどん取り組んでほしい。ゆくゆくは環境先進とも言われるくらいの箕面市になってくれたら最高です！</p> <p>よろしくをお願いします！！</p>	
6	<p>市民アンケートは貴重です。箕面の緑を守り活かした再エネ対策を求める意見が多数で、平均気温の上昇、災害への対策など気候変動等 市民の意見が共通しています。また、地球温暖化への危機感の実感があります。</p> <p>行政は主体的に、市民をはげまし、地域と協力して地球温暖化対策をすすめる事がより必要になっています。先進国や先進地にも学びながら本計画が推進されるように求めるものです。</p> <p>市が行う施策について財政の出動も含めて具体化を公開す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画の策定においては、市民アンケートの結果を活用しました。 ・行政が率先的に脱炭素に取り組み、具体的な施策を推進します。いただいたご意見は、今後の施策検討の中で参考とさせていただきます。

意見 番号	いただいたご意見	いただいたご意見に対する市の考え方
	<p>ることや、太陽光など再生可能エネルギーによる具体策として、必要な予算を組み、電力の利用、税金の優遇、補助金の申請、脱炭素に有効な製品・サービスの選択など、住民や地元企業に専門的なアドバイスを行える支援窓口の設置を行う事、</p> <p>再エネ対策として市民と地域と行政の共同で街を見直し、近隣市がとりくんでいるような公園や道路などの防犯灯設置等に太陽光パネルを設置し、再エネをみえる形からも実施すること。災害や気候危機対策としても箕面の森林を守るために積極的な対策をとる。箕面の自然を守り、森林経営をたてなおし、地球温暖化対策、再エネや、災害対策として大きく位置づけること。</p> <p>長期の計画に対応できるように、職員の配置、専門性のある職員の配置と育成など抜本的な体制を抜本的に強化すること。運営については公開、民主を徹底すること。本事業について市民の自主的な活動を支援し、再エネ推進に公共施設の活用も積極的におこなうこと。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	
7	<p>1. 全般的に、実行計画にしては具体性が極めて乏しく、理念やありかたを書いているにすぎないように思える。これでは2030年目標すら達成できないのではないかと。</p> <p>2. 実行計画なので、少なくとも2026年度から2030年までの年次計画が必要です。各項目について、どう具体的に進めるのかを提示するのが実施計画では？</p> <p>3. 事業所や市民が自然発生的に取り組むことを期待して、計画が達成できるかのような印象が強い。そこには、行政が責任を持って推進する決意が感じられない。</p> <p>もっと具体的に書けば、例えば</p> <p>*住宅に設置型の太陽光発電設置を進めるにあたり</p> <p>26年度の広報はどのように知らせるのか具体化が必要。</p> <p>また26年度の目標は市域で〇〇件、〇〇kWの設備を設置する。環境省の補助金制度の紹介や、屋根貸し制度(企業)の内容の紹介、箕面市の支援策と具体的に内容を示すこと(補助金制度の設定は〇〇件、計〇〇〇万円)。それを実現するため、箕面市がどう動くのかを示すなどです</p> <p>*みどりの問題でいえば</p> <p>市有林が相当あると思いますが、その管理をどのように改善して、CO2吸収林にするかも必要です。その管理によって森林吸収も期待できます。なお市有林の管理は災害予防上も重要です。</p> <p>ヒートアイランド防止のために各年度の公園樹・街路樹の植林計画・世代交代計画などが示される必要があるでしょう。</p> <p>例示したような内容がもっと各項目について行なわれないと、「一応広報しましたが、達成できませんでした」という結果に終わりがねません。早急な具体化を期待します。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体性に関しては、各基本目標に対して、定量評価するための取組指標を設定しています。基本目標ごとに、取組指標として、「家庭部門における市民1人当たりの温室効果ガス排出量」等を設定しています。 ・ 市は、率先的に脱炭素に取り組み、具体的な施策を推進します。令和5年(2023年)11月に策定した「箕面市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」に基づき、本市の事務及び事業における温室効果ガス排出量削減のための取組を進めていきます。さらに、市域全体に対しては、温暖化対策に関する情報発信や支援施策により市民・事業者による脱炭素の取組を後押しします。 ・ 太陽光発電設備の設置については、市独自の制度は今のところありませんが、国・府の最新の動向や各種補助金等について情報収集に努め、本市ホームページや広報紙等にて市民、事業者に向けて情報を発信していきます。 ・ 市有林については、間伐事業を行っており、「大阪府CO2森林吸収量・木材固定量認証制度」を活用してCO2吸収量の認証を受け、森林整備認証面積を、「基本目標3 みどり豊かで安心安全なまち」の取組指標にもしています。また、公園の樹木や街路樹については、「箕面しみどりの基本計画」や「箕面市街路樹マネジメント計画」に基づき、令和8年度からは、交通量の多い路線の街路樹の植替を計画しており、今後は計画的に植替を進めていきます。 ・ ご意見のとおり、計画の実効性を高めるためには、施策ごとに年度別の目標値や具体的な取組内容、広報・支援策の詳細、進捗管理の方法などを明確にすることが重要であると認識しています。 <p>本計画では、PDCAサイクルによる進行管理を明記しています。計画の進行については、今後の予算や国・府の動向、関係機関との調整等も踏まえ、毎年度、庁内会議で進捗管理や評価を行い、必要に応じて計画の見直しを行う体制を整えていきます。</p>